

報道関係者各位

公益財団法人 日本科学技術振興財団・科学技術館
Japan Science Foundation / Science Museum

2024年度「放射線教材コンテスト」及び「放射線授業事例コンテスト」

受賞作品の決定について

～2024年12月27日(金)「放射線教育発表会」を科学技術館(東京・千代田区)にて開催～

日本科学技術振興財団では、放射線に関する正確な知識・技能の普及啓発や学校等における放射線教育の普及啓発を目的として、2つのコンテストを実施しています。

放射線(教育)を学ぶ大学生等が考えた、小・中・高等学校授業で活用できる放射線教材作品を決める「放射線教材コンテスト」と、小・中・高等学校教育関係者による、放射線教育に関する企画、実践事例、教材・教具の開発、学習指導案などの事例を選ぶ「放射線授業事例コンテスト」の両コンテストの受賞作品を発表します。また、12月27日(金)には、科学技術館(東京都千代田区)において、両コンテストの表彰式及び放射線教育発表会(受賞作品のブース実演とパネルディスカッション)を開催いたします。

「2024年度放射線教材コンテスト」

応募内容:児童・生徒が放射線について学ぶための教材を広く募集。演示については、学校での活用を念頭に、1回あたり10分程度のブース実演ができるもの。

募集対象:放射線(教育)分野等を専攻する大学生、大学院生、短期大学生、高等専門学校生、専門学校生等の学生個人または数名のチーム

応募作品:213作品(応募校16校)

受賞作品:最優秀賞2件、優秀賞8件、特別賞6件

後援:東京都教育委員会、福島県教育委員会、全国小学校理科研究協議会、全国中学校理科教育研究会、日本理化学協会、公益社団法人日本理科教育振興協会、NPO法人放射線教育フォーラム

「2024年度放射線授業事例コンテスト」

応募内容:小・中・高等学校学習指導要領に、「放射線に関する教育」が取り上げられたことを踏まえ、放射線教育を検討している教員の参考となる企画、実践事例、教材・教具の開発、学習指導案などの放射線授業事例を広く募集

募集対象:小・中・高等学校の教育関係者

応募作品:188作品

受賞作品:最優秀賞0件、優秀賞2件、入選9件、特別賞6件

後援:東京都教育委員会、福島県教育委員会、全国小学校理科研究協議会、全国中学校理科教育研究会、日本理化学協会、公益社団法人日本理科教育振興協会、NPO法人放射線教育フォーラム

「2024年度放射線教育発表会」

開催日時:2024年12月27日(金) 10:30～17:30

会場:科学技術館1階イベントホール(東京都千代田区北の丸公園2-1)

定員:100名(参加費無料) 参加申し込み締切:2024年12月24日(火)

申込:Googleフォーム <https://forms.gle/Z59in1TiArMWdf5R9>

問合せ:日本科学技術振興財団 人財育成部

TEL: 03-3212-8504 E-mail: radi-info@jsf.or.jp

放射線教育支援サイト“らでい” <https://www.radi-edu.jp/seminar>

《本プレスリリースに関する問合せ先》

公益財団法人 日本科学技術振興財団 人財育成部 エネルギー・環境グループ
〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2番1号

TEL: 03-3212-8504 FAX: 03-3212-8596 E-mail: radi-info@jsf.or.jp

※受賞作品の文字データ、写真データが必要な方は、「人財育成部 エネルギー・環境グループ」までお問い合わせください。e-mail等にてお送りさせていただきます。

2024年度放射線教材コンテスト 概要

放射線(教育)を学ぶ大学生等を対象に、小・中・高で活用できる放射線教材を広く募集。その教材を教職員の方々にご紹介することによって放射線教育の輪が広がっていくことを願って、放射線教材コンテストを毎年実施しています。この度、以下のとおり受賞作品が決定しましたので発表いたします。

名称	2024年度放射線教材コンテスト
回数	7回目
主催	公益財団法人日本科学技術振興財団
後援	東京都教育委員会、福島県教育委員会、全国小学校理科研究協議会、 全国中学校理科教育研究会、日本理化学協会、 公益社団法人日本理科教育振興協会、NPO 法人放射線教育フォーラム
対象	放射線(教育)分野等を専攻する大学生、大学院生、短期大学生、 高等専門学校生、専門学校生等の学生個人または数名のチーム(所属学部 や学科、専攻の名称に必ずしも「放射線」が含まれる必要はない)
応募結果	応募校数:16校 応募作品数:213作品
賞	最優秀賞 2件、優秀賞 8件、特別賞 6件
スケジュール	2024年9月30日(月) 募集締切 12月27日(金) 放射線教育発表会 ※本コンテストのブース実演、表彰式等
ホームページ	https://www.radi-edu.jp/contest

2024年度放射線教材コンテスト 入賞作品

最優秀賞（作品名五十音順）

教材名	代表者名	学校名
放射線宝探しゲーム	伊坂 向日葵	駒澤大学
「ラジトレ」で楽しく放射線と医療の知識を身に付けよう！	山下 泰大	京都医療科学大学

優秀賞（作品名五十音順）

教材名	代表者名	学校名
仮想世界旅行を通して学ぼう！“自然放射線量の相場観”	東 晴菜	北海道科学大学
ゲーム教材『放射線発見！カード』で学ぶ身近な放射線	大多和 秀樹	常葉大学大学院
つなげて学ぼう！放射線カード	長田 肇	兵庫医科大学
特別支援学校(小学部)のための放射線 Word サイコロゲーム	佐藤 颯	滋賀大学大学院
放射線でがんを治せるの!?～UV 蛍光体とリモネンで視覚化！～	大迫 桜歩	帝京大学
放射線の力を知る RI かるた チャレンジ	福間 琴乃	広島国際大学
放射線を測って試薬を当てよう！これって何？	松岡 佳佑	兵庫医科大学
水で見てみよう！放射線	加藤 杏純	帝京大学

全国小学校理科研究協議会特別賞

教材名	代表者名	学校名
水で見てみよう！放射線	加藤 杏純	帝京大学

全国中学校理科教育研究会特別賞

教材名	代表者名	学校名
「ラジトレ」で楽しく放射線と医療の知識を身に付けよう！	山下 泰大	京都医療科学大学

日本理化学協会特別賞

教材名	代表者名	学校名
放射線の力を知る RI かるたチャレンジ	福間 琴乃	広島国際大学

NPO 法人放射線教育フォーラム特別賞

教材名	代表者名	学校名
「ラジトレ」で楽しく放射線と医療の知識を身に付けよう！	山下 泰大	京都医療科学大学

放射線教育支援サイト“らでい”特別賞

教材名	代表者名	学校名
放射線でがんを治せるの!?～UV 蛍光体とリモネンで視覚化！～	大迫 桜歩	帝京大学

公益財団法人日本科学技術振興財団理事長賞(特別賞)

教材名	代表者名	学校名
「ラジトレ」で楽しく放射線と医療の知識を身に付けよう！	山下 泰大	京都医療科学大学

募集

〈2024年度〉 放射線教材コンテスト のご案内

“放射線エウレカ”を形にしよう

エウレカとは…紀元前のギリシア、アルキメデスは複雑な形をした王冠の体積を知るための方法を考えていたときに入浴したところ、自分が湯の中に浸かった分だけ、浴槽から湯が溢れ出ること気づき、その解決策を思いついたといわれています。その時、喜びのあまりに思わず叫んだといわれている言葉が「EUREKA(エウレカ)」で、「わかったぞ!」という意味の感嘆詞です。このエウレカにちなんで、放射線を学ぶ中でエウレカと感じたことを、本コンテストでは“放射線エウレカ”と名付けました。

主催：公益財団法人日本科学技術振興財団
 後援：東京都教育委員会、福島県教育委員会、
 全国小学校理科研究協議会、
 全国中学校理科教育研究会、日本理化学協会、
 公益社団法人日本理科教育振興協会、
 NPO法人放射線教育フォーラム



目的	・放射線に関する正確な知識・技能の普及啓発 ・学校等における放射線教育の普及啓発
審査基準	“放射線エウレカ”を【具現化】し、 【教育効果】の高い放射線教材となっているか ・授業で使用しやすいように、5～10分で実施できる内容となっているか。 ・放射線について学習する時に、児童生徒の多くが疑問に感じそうな放射線の知識を“放射線エウレカ”として明快に設定しているか。 ・過去の文献や実験を参考にしているか。(参考文献が明記されているか) ・新規性はあるか。(参考文献との違いの大小は評価しない。違いが少なかつたとしてもオリジナルの部分が明確に説明できているほど高く評価する。)
	教育効果 ・内容が偏ることなく、中立的となっているか。 ・設定した校種、学年と内容が合致しているか(発達段階に合っている内容ほど高く評価する)。 ・授業等で活用しやすい教材となっているか。 ・「主体的・対話的で深い学び」の視点に立ったアクティブ・ラーニング教材となっているか。 ・放射線について学ぶ児童生徒の思考力・判断力・表現力等を育む内容となっているか。
	対象 放射線(教育)分野等を専攻する大学生、大学院生、短期大学生、高等専門学校生、専門学校生等の学生個人または数名のチーム(所属学部や学科、専攻の名称に必ずしも「放射線」が含まれる必要はない)。
応募方法	指定のフォーマットを使用して、[1]+[2]または[3]をメール送付する。 ①エントリーシート ②予稿 ③【簡易版】応募用紙
審査員	【審査委員長】 鈴木 宗彦 帝京大学医療技術学部診療放射線学科 客員教授 【審査委員】 青木 久美子 東京都世田谷区立千歳中学校 主任教諭 大谷 浩樹 帝京大学医療技術学部診療放射線学科 教授 加藤 真介 横浜薬科大学薬学部放射線科学研究室 教授 清原 洋一 秀明大学学校教師学部 教授 小林 博明 敬愛大学教育学部 教授 関根 紀夫 東京都立大学健康福祉学部放射線学科 准教授

※以下の放射線教育支援サイト“らでい”よりダウンロードしてください。

賞	特別賞	最優秀賞(副賞3万円相当)	2件
		優秀賞(副賞1万円相当)	若干
		全国小学校理科研究協議会特別賞(副賞1万円相当)	1件
		全国中学校理科教育研究会特別賞(副賞1万円相当)	1件
		日本理化学協会特別賞(副賞1万円相当)	1件
		NPO法人放射線教育フォーラム特別賞(副賞1万円相当)	1件
		放射線教育支援サイト“らでい”特別賞(副賞1万円相当)	1件
		日本科学技術振興財団理事長賞 特別賞(副賞1万円相当)	1件
入選(副賞2千円相当)	若干		
準入選(副賞1千円相当)	若干		

※1 各賞の賞状は応募代表者、共同応募者の全員に授与する。
 ※2 特別賞は、最優秀賞、優秀賞とは別途選考され、他の賞と重複して授与される場合がある。

放射線教育発表会
 開催日：2024年12月27日(金)
 ①発表会(ブース実演)
 ②パネルディスカッション
 ③表彰式
 開催場所：科学技術館(東京都千代田区北の丸公園2-1)

9月30日(月)	募集締切
10月 下旬	2次審査通過作品発表※
11月30日(土)	最終審査資料提出
12月 中旬	受賞作品発表
12月27日(金)	放射線教育発表会(ブース実演・表彰式)

※2次選考通過者には、最終選考に必要な提出物等について別途お知らせいたします。

〈お問い合わせ・ご応募〉

公益財団法人 日本科学技術振興財団 人育成部
 (2024年度)放射線教材コンテスト事務局 〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2-1
 TEL: 03-3212-8504 FAX: 03-3212-8596 e-mail: radi-info@jsf.or.jp
 放射線教育支援サイト“らでい” <https://www.radi-edu.jp/contest>



2024年度放射線授業事例コンテスト 概要

教職員等(小中高の教職員、OB・OGを含む)を対象に、放射線教育に関する企画、実践事例、教材・教具の開発、学習指導案などを募集。放射線授業事例コンテストを毎年実施しています。この度、以下のとおり受賞作品が決定しましたので発表いたします。

名称	2024年度放射線授業事例コンテスト
回数	5回目
主催	公益財団法人日本科学技術振興財団
後援	東京都教育委員会、福島県教育委員会、全国小学校理科研究協議会、 全国中学校理科教育研究会、日本理化学協会、 公益社団法人日本理科教育振興協会、NPO 法人放射線教育フォーラム
対象	小・中・高等学校の教育関係者(現職教員に限らず、元教員、指導主事、関係団体職員等)
応募結果	応募作品数:188作品
賞	最優秀賞0件、優秀賞2件、入選9件、特別賞6件
スケジュール	2024年10月31日(木) 募集締切 12月27日(金) 放射線教育発表会 ※本コンテストのブース実演発表、表彰式等
ホームページ	https://www.radi-edu.jp/case-contest

2024年度放射線授業事例コンテスト 受賞作品

最優秀賞

※該当作品なし

優秀賞（作品名五十音順）

題名	受賞者	所属
放射線を可視化して科学的・道徳的に探究する指導展開	高野 将吾	福岡県朝倉市立甘木中学校
「放射線」を通して「福島」について考える授業	佐藤 拓也	福島県相馬市立向陽中学校

入選（作品名五十音順）

題名	受賞者	所属
外部連携を基盤とした放射線を題材とする課題研究の取り組みとその教育的意義	加藤 信行	栃木県立大田原高等学校
高校生主体の実験教室で伸ばすサイエンスコミュニケーション能力	大津 浩一	名古屋経済大学市邨高等学校
持続可能な放射線教育をめざして～ 学級担任との Team Teaching 放射線授業を通して ～	佐々木 清	元教員
2時間の放射線実験を核とした中学2年、3年の同時期授業実践～「放射性物質は人から人に伝染しない」を確認するための実験を含む～	原口 栄一	鹿児島市立東桜島中学校
放射線副読本の通読からはじめる「高レベル放射性廃棄物の地層処分」の授業事例	奈良 大	愛知教育大学附属名古屋中学校
放射線防護の方法を導き出す実験～簡易放射線測定器「はかるくん」を1人1台用いて～	谷内 久美子	大阪市立高津中学校
Minecraft で学ぶ放射性壊変	藤田 鈴香	香川高等専門学校
名画の真実～X線で見えたもの～	八嶋 孝幸	弘前大学教育学部附属小学校
理科を軸とした教科等横断的な視点でのカリキュラム・マネジメントを通して、がん教育と放射線教育との連携を図る ver.2～確率的影響モデルに基づく放射線による人体影響の学習～	若林 昌吾	千葉県君津市立周西中学校

全国小学校理科研究協議会特別賞

題名	受賞者	所属
持続可能な放射線教育をめざして～学級担任との Team teaching 放射線授業を通して～	佐々木 清	元教員

全国中学校理科教育研究会特別賞

題名	受賞者	所属
放射線副読本の通読からはじめる「高レベル放射性廃棄物の地層処分」の授業事例	奈良 大	愛知教育大学附属名古屋中学校

日本理化学協会特別賞

題名	受賞者	所属
外部連携を基盤とした放射線を題材とする課題研究の取り組みとその教育的意義	加藤 信行	栃木県立大田原高等学校

NPO 法人放射線教育フォーラム特別賞

題名	受賞者	所属
外部連携を基盤とした放射線を題材とする課題研究の取り組みとその教育的意義	加藤 信行	栃木県立大田原高等学校

放射線教育支援サイト“らでい”特別賞

題名	受賞者	所属
名画の真実～X線で見えたもの～	八嶋 孝幸	弘前大学教育学部附属小学校

公益財団法人日本科学技術振興財団理事長賞(特別賞)

題名	受賞者	所属
名画の真実～X線で見えたもの～	八嶋 孝幸	弘前大学教育学部附属小学校

2024年度 放射線授業事例コンテスト

平成29・30・31年改訂学習指導要領【総則編】では、「豊かな人生の実現や災害等を乗り越えて次代の社会を形成することに向けた現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を、教科等横断的な視点で育成していくこと」が明記され、「解説」ではその資質・能力の育成の1つとして「放射線に関する教育」が取り上げられています。

「こんな授業をやってみたい」「こんな授業をやってみた」「こんな工夫が授業に役立った」「高価な実験道具を使用せずに授業を実践してみた」といった放射線教育を検討している教員の参考となる企画、実践事例、教材・教具の開発、学習指導案などの放射線授業事例をひろく募集いたします。

募集対象

小、中、高（高専を含む）の教育関係者
（現職教員に限らず、元教員、指導主事、関係団体職員 等）

締切日

2024年10月31日（木）

主催

公益財団法人 日本科学技術振興財団

後援

東京都教育委員会、福島県教育委員会、全国小学校理科学研究協議会、
全国中学校理科教育研究会、日本理化学協会、公益社団法人日本理科教育振興協会、
NPO法人放射線教育フォーラム

応募内容

①エントリーシート及び放射線授業事例（詳細資料を含む）

②簡易応募シート

※エントリーシート、放射線授業事例、簡易応募シートは、放射線教育支援サイト“らでい”
（<https://www.radi-edu.jp/case-contest>）から所定のフォーマットをダウンロード
して使用する。

応募方法

- 応募内容①または②について、メール（radi-info@jsf.or.jp）にて送付してください。
- 応募は1人につき1点とする。（共同応募者としての応募は複数可能。）
- 放射線授業事例について、指導計画、指導案、学習形態、ワークシート、観察・実験、アンケート分析など含めた詳細資料がある場合には、A4（任意形式）10枚以内にまとめて、pdfファイルとして提出してください。

問い合わせ

公益財団法人 日本科学技術振興財団 人財育成部

「放射線授業事例コンテスト」事務局 〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2-1

TEL：03-3212-8504 FAX：03-3212-8569 e-mail: radi-info@jsf.or.jp

放射線教育支援サイト“らでい” <https://www.radi-edu.jp/case-contest>



2024年度 表彰式及び放射線教育発表会 概要

当財団では、日本全国の放射線教育関係者が一堂に会し、今後の放射線教育に関する情報交換と研修の機会となることを願い、表彰式及び放射線教育発表会を開催しています。本発表会は、今回で3回目の開催となります。内容は、つぎの3部構成です。

(1) 表彰式

「放射線教材コンテスト」と「放射線授業事例コンテスト」の受賞者へ表彰状授与

(2)放射線教育発表会 ①発表会

ブース実演として、放射線教育関係者及び一般参加者に対し、受賞者自ら放射線教材、放射線授業事例について演示していただきます。

(3)放射線教育発表会 ②パネルディスカッション

福島第一原子力発電所事故があった福島県での放射線教育の現状、放射線授業の経年変化などをご説明いただきます。また発表いただいた福島県の教員と東京都の教員による意見交換会を実施します。

開催日時：2024年12月27日(金) 10:30~17:30

会場：科学技術館1階イベントホール(東京都千代田区北の丸公園 2-1)

定員：100名 参加費:無料 応募締切:2024年12月24日(火)

申込：Google フォーム <https://forms.gle/Z59in1TiArMWDf5R9>

問合せ：日本科学技術振興財団 人財育成部

T E L：03-3212-8504 E-mail:radi-info@jsf.or.jp

放射線教育支援サイト“らでい” <https://www.radi-edu.jp/seminar>

名称	2024年度放射線教育発表会
主催	公益財団法人日本科学技術振興財団
対象	放射線教育関係者
後援	東京都教育委員会、福島県教育委員会、 全国小学校理科研究協議会、全国中学校理科教育研究会、日本理化学協会、 公益社団法人日本理科教育振興協会、NPO 法人放射線教育フォーラム
スケジュール	2024年12月27日(金) 10:30~12:00 表彰式(関係者のみ参加) 13:00~15:55 放射線教育発表会①発表会 16:15~17:30 放射線教育発表会②パネルディスカッション

2024年度 放射線教育発表会

2024年12月27日(金) 13:00~17:30

会場 科学技術館1F イベントホール
〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2番1号
東京メトロ東西線「竹橋」駅より徒歩7分
東京メトロ東西線・半蔵門線/都営新宿線「九段下」駅より徒歩9分

主催：公益財団法人 日本科学技術振興財団
後援：東京都教育委員会、福島県教育委員会、全国小学校理科研究協議会、全国中学校理科教育研究会、日本理化学協会、公益社団法人日本理科教育振興協会、NPO 法人放射線教育フォーラム

全国の放射線教育に取り組んでいる先生方の情報交換、研修の場として放射線教育発表会を開催いたします。ぜひご参加ください。

スケジュール(予定)	時間	会場
受付開始	12:30~	
発表会	13:00~15:55	
放射線教材コンテスト入選作品発表①	13:15~14:00	9・10号館
放射線授業事例コンテスト入選作品発表①	14:00~14:30	9・10号館
放射線教材コンテスト入選作品発表②	14:30~15:15	9・10号館
放射線授業事例コンテスト入選作品発表②	15:15~15:45	9・10号館
環境省 事業紹介	15:55~16:05	8号館
パネルディスカッション		
進行：秀明大学 教授 清原洋一氏 パネリスト：「福島に学ぶプロジェクト」にご応募いただいた先生等にご登壇いただく予定です。	16:15~17:30	8号館



放射線教育発表会にご参加いただきアンケートに回答いただいた方に、参加賞として Amazonギフト券 1,000円を贈呈します。

- 定員** 100名 *対面のみ、オンラインはありません。
- 参加費** 無料 (交通費・宿泊費・通信費等はご負担ください)
- 申込締切** 2024年12月24日(火) (先着順)
- 申込方法** Googleフォームにてお申し込みください。
URL: <https://forms.gle/Z59in1TiArMWDf5R9>



放射線教材コンテスト	放射線授業事例コンテスト	福島に学ぶプロジェクト
募集内容 児童生徒が放射線について学ぶための放射線教材及びその放射線教材を用いた表示内容	募集内容 放射線教育を検討している教員の参考となる企画、実践事例、教材・教員の開発、学習指導案などの放射線授業事例	募集内容 福島県での放射線教育の実践活動
対象 放射線(教育)分野等を専攻する大学生、大学院生、短期大学生、高等専門学校生、専門学校生等	対象 小・中・高の教育関係者等	対象 福島県内の小・中・高(高明)等
URL https://www.radi-edu.jp/contest	URL https://www.radi-edu.jp/case-contest	URL https://www.radi-edu.jp/fukushima

公益財団法人 日本科学技術振興財団 人財育成部 エネルギー・環境グループ
お問い合わせ 〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 2-1
TEL: 03-3212-8504 FAX: 03-3212-8596 e-mail: radi-info@jsf.or.jp

公益財団法人日本科学技術振興財団 行

2024 年度放射線教育発表会

「放射線教育発表会」は、①放射線教材コンテスト受賞作品の発表会と、②放射線授業事例コンテスト受賞作品の発表会を、併せて実施するものです。①、②を合同開催することにより、本件発表会が、全国の放射線教育に取り組んでいる方々相互の情報交換と、研修の場となることを願っています。何卒取材をいただけますようご検討のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、発表会当日の取材は、12月24日(火)までにご連絡ください。

日時：2024年12月27日(金) 10:30~17:30

会場：科学技術館1階イベントホール

■プレス参加

貴社名 _____

媒体名 _____

ご芳名 _____ 他計 名様

ご所属 _____

ご連絡先 _____

個人情報 「個人情報の取り扱いについて」に関して同意します。

(次ページの個人情報の取扱いをご確認いただき口に✓をお願いします)

通信欄 _____

交通アクセス

科学技術館

(東京都千代田区北の丸公園 2 番 1 号)

最寄り駅

【東京メトロ東西線、半蔵門線】

【都営地下鉄新宿線】

「九段下」駅下車(2 番出口) 徒歩約 800m(約 9 分)

【東京メトロ東西線】

「竹橋」駅下車(1b 出口) 徒歩約 550m(約 7 分)



<個人情報の取り扱いについて>

1. 個人情報の管理者について

ご提供いただいた個人情報は以下の者が適正に管理いたします。

公益財団法人 日本科学技術振興財団 個人情報保護管理者 吉田 忍

個人情報取扱部門責任者 木本 徹

連絡先 03-3212-8487

2. 個人情報の利用目的について

当財団はご提供いただいた個人情報について、以下の目的で利用します。

下記以外の目的で個人情報を利用させていただく場合には、別途その旨をご連絡致します。

(1) ご本人さまよりお申し込みいただいた発表会への出席の登録。

(2) 本発表会、報道対応に関する確認・連絡等を行うため。

3. 個人情報の第三者への提供および委託について

当財団はお客様の同意をいただいた場合または法令に基づく場合を除き、ご提供いただきましたお客様の個人情報を第三者に提供または委託することはありません。

4. 個人情報のご提供の任意性について

個人情報のご提供は任意ではありますが、必要な情報をご提供いただけない場合は、上記利用目的の遂行に支障が生じる可能性がありますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。

5. 個人情報に関するお問い合わせについて

お客様よりご提供いただいた個人情報に関して、開示、及び開示の結果、当該情報が誤っている場合に訂正又は削除のお申し出をいただいた場合には、速やかに対応いたします。

開示等の求めについての手続きは、当財団 Web「個人情報の開示等の求めに関する手続き」をご参照ください。

なお、以上のお申し出に対する当財団の個人情報に関する窓口は、次のとおりです。

公益財団法人 日本科学技術振興財団 経営企画・総務室

電話 03-3212-8484

6. ご本人の同意について

当財団は上記1から5までの項目についてご本人のご同意がいただけた場合にのみ個人情報を取得いたします。